

器 1 手術台及び治療台  
管理医療機器 耳鼻咽喉科用治療ユニット（11585000）  
**KIDS ENT Workstation ユニット CG300**

**\*\*【禁忌・禁止】**

1. 本製品は当社指定の関連機器との組み合わせで使用し、指定以外の関連機器との組み合わせで使用しないこと。故障の原因となります。
2. 本装置は防爆型ではないので装置の付近で可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。爆発、火事などを引き起こす可能性があります。
3. 本製品の近くで強い電磁波を発生する装置（電気手術器など）を使用しないこと。誤動作をおこす可能性があります。

**【形状・構造及び原理等】**

**1. 外観形状**



本体天板



本体側面



本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認して下さい。

**2. 構成**

**各部品と付属品**

**各部名称と付属品**

- |             |                |
|-------------|----------------|
| ① 照明灯支柱     | ⑱ 通気圧メーター      |
| ② 薬瓶架       | ⑲ 直結スプレー       |
| ③ 綿棒缶 45φ   | ⑳ 吸引アダプタ（装着部）  |
| ④ 薬瓶架アーム    | ㉑ 喉頭鏡ヒーター      |
| ⑤ 薬瓶架用ブラケット | ㉒ 喉頭鏡ヒータースイッチ  |
| ⑥ 吸引圧メーター   | ㉓ マイクロスコープスイッチ |
| ⑦ スプレー圧メーター | ㉔ EXT スイッチ     |
| ⑧ スプレー圧調節器  | ㉕ 照明灯スイッチ      |
| ⑨ メンテナンス扉   | ㉖ 通気スイッチ       |
| ⑩ 通気エア噴出口   | ㉗ 綿球入れ         |
| ⑪ 通気引掛け金具   | ㉘ 器械バット        |
| ⑫ 通気圧調整器    | ㉙ 天板           |
| ⑬ 吸引圧調整器    | ㉚ 吸引瓶          |
| ⑭ 6×8 バット   | ㉛ ポリ排気瓶（ドレイン用） |
| ⑮ 吸引洗浄缶     | ㉜ ポリ排気瓶（ポンプ用）  |
| ⑯ 汚物缶       | ㉝ 補助瓶          |
| ⑰ 綿棒缶 60φ   |                |

**3. 名称**

販売名：KIDS ENT Workstation ユニット CG300

**4. 作動・動作原理**

気部にエアーを供給する。

吸引系：吸引滑車部に連動したスイッチにより吸引ポンプを動作させる。

電気系：ライト、喉頭鏡ヒーター、通気、等の操作についてはパネル上のスイッチにて行う。

※本機取扱い説明書を参照して下さい。

**5.仕様等**

|        |                    |
|--------|--------------------|
| 周囲温度   | 10℃ ～ 40℃          |
| 相対湿度   | 30% ～ 75%          |
| 気圧     | 700 hPa ～ 1060 hPa |
| 電気安全試験 | JIS T0601-1 に適合    |
| EMC    | JIS T 0601-1-2 に適合 |

|                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 電源に関する保護の形式          | クラス I           |
| 電撃に対する保護の程度による装着部の分類 | BF 形装着部         |
| 入力電源                 | 交流 100V 50/60Hz |
| 消費電流                 | 15A             |

寸法（単位ミリメートル W=幅 D=奥行き H=高さ）

|            |                                 |
|------------|---------------------------------|
| 本体ユニット     | W880mm x D700mm x H790mm ポールφ49 |
| 重量（照明灯装着時） | 93Kg                            |

|            |                                  |
|------------|----------------------------------|
| （照明灯装着時）   |                                  |
| 本体ユニット     | W880mm x D700mm x H2500mm ポールφ49 |
| 重量（照明灯装着時） | 120Kg                            |
| 照明灯装置      | 100V 100W 吸熱フィルター ダブルアーム式        |

**【使用目的又は効果】**

**使用目的**

患者の耳鼻及び咽喉を検査及び治療に際して使用する医療機器です。

**【使用方法等】**

**1. 設置場所**

- ① 水又は薬液、埃等の無い場所に設置して下さい。
- ② 振動、傾斜、衝撃の生じない安定した場所に設置して下さい。
- ③ 化学薬品の保管場所やガス等が発生しない場所に設置して下さい。
- ④ 直射日光が当たらず、高温多湿でない場所に設置して下さい。
- ⑤ アースを正しく接続してください。

KIDS ENT Workstation ユニット CG300  
グレー部分オプション

2. 組立方法

- ① 吸引ポンプ、コンプレッサーを取り付け、配管を行います。
- ② 照明灯用支柱を取り付け、L 型アームを差込みます。
- ③ 照明灯を取り付け、配線を行います。
- ④ スプレー及び通気用ゴム管の接続をします。
- ⑤ 薬瓶架を取り付けます。
- ⑥ 瓶、吸引洗浄缶、器械バットを取り付けます。
- ⑦ 吸引汚物瓶を取り付けます。
- ⑧ 関連機器を取り付けます。

※ユニットに取り付ける関連機器は必ず当社指定の関連機器をご使用ください。

\*\*《当社指定の関連機器》

|      |                                  |
|------|----------------------------------|
| 光源装置 | FGL-100L/LH 又は FGL-150L、EF-GL200 |
| 診療椅子 | FTC 型 又は FKC 型又は SFC 型           |
| 顕微鏡  | FMU-02 又は FMU-07                 |

取付方法など詳細は取扱説明書をご確認ください。

3. 使用方法

①電源スイッチを入れる

ユニット背面にあるメインスイッチを『ON』にしてください。(診察終了後は必ずメインスイッチを『OFF』にしてください)。ユニット内のコンプレッサーモーターが自動的に始動します。タンク内圧力が0. 4MPaにまで上がると自動的にコンプレッサーモーターは停止し、スプレーや通気装置を使用することによってタンク内圧力が0. 15MPaまで下がると自動的にコンプレッサーモーターは始動します。この動作、停止の繰り返しによってスプレーや通気装置を使うことができます。

尚、メインスイッチを『OFF』にしたときに「シュー」というエアーの抜ける音がしますが、これはタンク内にたまった空気を抜くと同時に、コンプレッサーモーターから送り込まれたエアーがタンク内で圧縮された時にたまる水滴なども一緒に外部に排出してくれる機能ですので故障ではありません(オートドレイン機構)。

②スプレーを使用する

スプレーのプッシュボタンを押すと霧状の薬液が噴出します。

③吸引を使用する

吸引装置は吸引アダプターを持ち上げると自動的にマイクロスイッチが働き、吸引ポンプが動作します。吸引力の調整は本体右側面の吸引圧調整器にて強弱を調整してください。右方向(時計回り)に回すと強くなります。止める時はもう一度通気スイッチを押してください。スイッチは点灯するとON、消灯するとOFFになります。

④通気装置を使用する

通気装置は通気スイッチを押すと通気アダプターより空気が噴出します。エアーの強弱はパネル上の通気圧メーターを見ながら通気圧調整器にて圧力を調整してください。右方向(時計回り)に回すと強くなります。止める時はもう一度通気スイッチを押してください。スイッチは点灯するとON、消灯するとOFFになります。

⑤喉頭鏡ヒーターを使用する

喉頭鏡ヒーターは喉頭鏡ヒータースイッチを押すと温風が吹き出てきます。止める時はもう一度喉頭鏡ヒータースイッチを押してください。スイッチは点灯するとON、消灯するとOFFになります。

⑥照明灯を使用する

照明灯を点灯させるときは、ライトスイッチを押してください。消灯する際はもう一度ライトスイッチを押してください。

※詳しい操作方法は取扱説明書をご確認ください。

【使用上の注意】

- 1.電源コードが確実に接続されている事を確認してください。
- 2.全ての配管が確実に接続されているか確認してください。
- 3.当社指定の関連機器が確実に取付けられ、配線されているか確認してください。
- 4.機器の外観に異常が無い事を確認してください。
- 5.本装置で使用する薬剤は、薬剤の添付文書に従って使用及び保管を行うこと。装置内に充填して使用する薬剤については当日のみの使用とし、装置内に留置したままでの使用や、継ぎ足しでの使用を行わないでください。薬液変質や、装置の腐食の原因となります。
- 6.組合せ動作については、下記指定の組合せ表以外で動作させないでください。下記組み合わせ以外の使用を行った場合、機能の確保が出来ず、故

障の原因となる可能性があります。

- 7.使用中、照明灯のランプは非常に高温になります。傘部、ガラス部等に不用意に触らないこと。また電球交換の際は十分に冷えた後に行うこと。

※定格電流を超える恐れがありますので、下表の組合せ以外の同時使用は行わないでください

| 組合せ | 吸引 | ドライヤ | 照明灯またはファイバー光源 | 顕微鏡 | 診療椅子 |
|-----|----|------|---------------|-----|------|
| 1   | ●  | －    | ●             | －   | －    |
| 2   | ●  | －    | －             | ●   | －    |
| 3   | －  | ●    | ●             | －   | －    |
| 4   | －  | －    | －             | －   | ●    |

●:操作 ー:非操作

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

| 環境条件（使用、輸送及び保管時） |        |           |
|------------------|--------|-----------|
| 周 囲 温 度          | 10℃    | － 40℃     |
| 相 対 湿 度          | 30%    | － 75%     |
| 気 圧              | 700hPa | － 1060hPa |

- 1.水のかからない水平な場所で直射日光が照射しない場所に保管すること。また気圧、温度、湿度は指定された環境条件を満たす場所に保管すること。
- 2.保管・運搬時は傾斜、振動、衝撃など与えないよう安定状態に注意すること。
- 3.化学薬品類の保管場所及び近接場所や腐食性ガスの発生する恐れのある場所、ホコリの多い場所に保管しないこと。

【保守・点検に係わる事項】

1. 使用前・定期点検

ご使用になられる前に、以下のことを確認してください。

- ① 電源コードが確実に接続されている事を確認してください。
- ② 電源スイッチが確実に入ることを確認してください。
- ③ スプレー及び通気が正常にできることを確認してください。
- ④ 吸引が正常に動作することを確認してください。
- ⑤ 関連機器が正常に動作できることを確認してください。
- ⑥ 汚物瓶に汚物がたまっていないことを確認してください。

※本装置の分解・修理は当社及び当社が指定する販売会社以外では絶対に行わないで下さい。

2. 本体内部の汚物瓶等の汚物処理方法

- ① 一日の診療終了後本体ユニット側面の扉を開け吸引汚物瓶を取り出し、瓶にたまった汚物を捨てビンをきれいに洗浄してください。洗浄後瓶の底に汚物が付着するのを防止するため、水又は消毒液を 2～3 cm位の所まで入れ瓶にゴムキャップをかぶせて本体ユニットに収納してください。また、診療後、吸引アダプターよりぬるま湯を吸わせてください。吸引内部配管に汚物が付着するのを防ぎます。
- ② 吸引の補助瓶にたまった水、汚物は診療後少量でもたまっていたら必ず取り除いて下さい。吸引ポンプに水が入りやすくなり故障や悪臭の原因となります

\*\*③補助瓶内のフィルターが、汚れ等で目詰まりしていないか確認してください。使用頻度にもよりますが、6ヶ月以内を目安に早めに交換してください。

3. スプレー装置の洗浄及び消毒方法

- ①一日の診療終了後スプレー装置を取り外し、下記のように分解し、洗浄を行ってください。  
中性洗剤等で洗浄した後、水気を出るだけふき取り乾燥させてください。  
真鍮にクロムメッキを施した部材を使用しているため、薬剤が付着したまま放置すると腐食の原因となります。

- ②薬液消毒を行う際は金属を侵さない性状のものを使用してください。また管状の部分が多いため、注射器等を使用し、薬剤が内部まで行き渡るよう注意してください。

消毒後は薬剤の残留が無い様、十分に洗浄を行った後に使用してください。  
**スプレー部のみオートクレーブでの滅菌が可能です。スプレー瓶のオートクレーブ滅菌はできませんのでご注意下さい。(別紙「スプレーのお手入れ方法について」を参照してください)**

本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認して下さい。

KIDS ENT Workstation ユニット CG300  
グレー部分オプション

#### 4. 照明灯の電球交換方法(照明灯使用の場合)

- ①電源スイッチをOFFにします。
  - ②ライト部分のパチン錠を外します。
  - ③前フタ部分をスライドさせます。
  - ④電球を交換します。
  - ⑤フタを元に戻し、パチン錠をかけます。
- ※電球の交換はランプが十分に冷めてから交換して下さい。

#### 5. その他の保守点検

- ①電源コードに傷がついていないことを確認してください。
- ②本体外観が汚れた場合、水で薄めた中性洗剤をしみこませた布をかたく絞り、汚れをふき取ってください。(ベンジン、シンナー、塩素系洗剤や薬液は絶対に使用しないでください。)
- ③配管に汚れ、ほつれ、傷がないことを確認してください。
- ④汚物瓶に割れや破損箇所がないことを確認してください。
- ⑤関連機器が正常に動作できることを確認してください。

#### 【包装】

前記の構成を参照してください。

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者・製造業者

キッズメディカル株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-27-12

TEL (03)5615-8822 FAX (03)5615-8855



**KIDS MEDICAL**

キッズメディカル株式会社

本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認して下さい。

KIDS ENT Workstation ユニット CG300  
グレー部分オブション